



やり切る力を生きる力へ

学校長 村越 新

3月13日(金)に向原中学校卒業証書授与式が行われ、義務教育を終えた中学生が立派に巣立っていきました。扇小の卒業生が「わかれの言葉」や合唱の指揮を行っており、胸が熱くなりました。本校の六年生も、本番に向けて練習を重ねており、立派な態度で巣立ってくれるものと確信しています。



さて、本年度の学校生活も2週間を切りました。子供たちにとって、一年間の**まとめの大事な日々**が続きます。本校では、子供たちには「**やり切る力**」を育てたいと考え、教育に取り組んできました。学年末のテスト、購入させていただいたドリルなどを、**最後まで**やり切らせたいと考えています。毎月行っている「算数チャレンジ」と「国語チャレンジ」も、私自身が**すべてに目を通し**、一人残らず合格させてきました。どちらも紙一枚、数問ではありますが、全員にやり切らせるために、覚悟をもって取り組んでいます。

栗田大輔氏(サッカー指導者、東京ヴェルディ代表取締役副社長)は、以下のように「やり切る力」について述べています。

日々の努力と共に、私が大切にしているのが目標に対してやり切る力。皆が夢や目標を持ち、「がんばります」と口にするものの、実際に毎日突き詰めた努力ができている人は案外多くない。一日二十四時間は誰にも平等だからこそ、自分の人生をコーディネートする力を早くから身につけてほしい。

小学校でも期限が決められている提出物や課題が日常的に存在します。氏の言葉を借りれば、「**必ず期限を守る**」「**早めに取り組む**」「**最後までやり切る**」などの力は、人生を**コーディネートする力**に直結すると考えます。

課題を残したまま進級することなく、この学年での課題をやり切ったという晴れ晴れした気持ちで、進級してもらいたいものです。

課題等をご家庭に持ってくるが多くなるかもしれませんが、その際には一緒に取り組んでいただけるとありがたいです。どうぞよろしくお願いいたします。

*一年間お世話になった担任等の先生への感謝の会を見る時期になりました。



ちょっと聞いてよ

毎週金曜日の給食中には、「ちょっと聞いてよ」というコーナーがあり、教頭が担当しています。読み聞かせをしたり、いい話を紹介したり、考えてもらいたいことを話したりしています。三学期は、本校職員が扇っ子に聴いてもらいたい曲を、そのメッセージとともに流しました。流された曲を紹介します。 * () 内は扇っ子へのメッセージ



「栄光への架け橋」

(苦しいことがあっても走りだそう)

「人として」

(誠実でいたい、大切なものを愛したい、信じたい)

「福笑い」

(笑顔が持つ大きな力)

「僕の欲しかったもの」

(周りを幸せにする力を皆が持っている)

「Believe in yourself」

(自分を信じて、何事も全力で努力)

「ルーキー」

(がんばっている姿が 何よりも美しい)

「明日はきっといい日になる」(明日はきっと…という前向きな気持ちで)

「アンパンマンたいそう」 (くじけそうになったら いいことを思い出そう)

「花よりも花を咲かせる土になれ」(目立たないけど 尊く誇らしいものがある)

落とし物

年度末になり、職員室の前に集まってきた「落とし物」の期限も迫ってきています。落とし物は原則として年度またぎでの保管はしません。本日より、再度児童に呼びかけをして、持ち主に引き取ってもらうように働きかけていきます。



・・・持ち主が見つからない落とし物・・・

服 24 (長袖、上着、肌着、ズボンなど)

ネックウォーマー 2

ハンカチ 38

手袋 11 (セット 3、片方 8)

軍手 5

水泳帽子 1

タオル 5

水筒 4

ポーチ 9

傘 12

靴 (片方) 1

お守り 2

髪飾り 8

縄跳び 5

電卓 1

帽子 4

ボール 13

グローブ 1

キャンプ用いす 1

のり 3

リップ 1

定規 4

鉛筆 30 以上

ハンドクリーム 1

